

One For All, All For One!



国土交通省

担当: 田村(1年目)
佐々木(1年目)

Vol.2 合同意見交換会 & 第3回勉強会を実施!

○ 東北南3県合同意見交換会を開催しました!(10月3日開催)

> 宮城・山形・福島県の事務所に所属している若手事務系職員(1~4年目)が仙台河川国道事務所に集まり、他事務所への理解を深め、横のつながりを作り、円滑な業務に役立てるという目的のもと、意見交換会を行いました。(福島の実務所はオンライン参加)

> 同じ業務を行う若手職員同士で、業務上の悩みについて話せる時間はとても貴重で、悩みを解消することができ、今後の業務に役立てたいです。



意見交換会の様子

○ 第3回勉強会を実施しました!(10月6日開催)

> 県内の次世代若手職員育成の一環として、宮城南部復興事務所の若手職員が企画をした現場見学会に参加しました。(内川流域五福谷川遊砂地、阿武隈川水系内川流域築堤外(その4)工事、丸森第3号トンネル工事を見学)

> 宮城南部復興事務所では、令和元年の台風19号により、大きな被害を受けた丸森町を中心に**直轄権限代行制度**を活用し、道路、河川、砂防事業に関する復興工事を行っています。

#直轄権限代行とは

大規模災害が発生した際に、工事の実施体制や高度な復旧工事の技術を必要とし、都道府県から国に要請があった場合に適用される制度

> **河川事業**では、堤防の強化を図るため、堤防の断面を広げる工事とともに、流下能力向上に向け、土砂が堆積した河道から土砂を取り除く河道掘削工事等を行っており、**砂防事業**では、令和元年度台風の際土砂災害が多発したため、今後の対策として、**遊砂地**等の砂防施設整備を行っています。

また、**道路事業**では、今回被災した国道349号が再び被災しないよう山側の別ルートに移すため、橋梁工事や大規模なトンネル工事を行っています。



令和元年東日本台風による浸水状況

出典(上下とも): 国土交通省宮城南部復興事務所ホームページ
20230403gaiyou.pdf (mlit.go.jp)

#遊砂地とは

大量の土砂が流れてきた際、一気に下流まで流れ込まないように、一時的に土砂を受け止める場所



遊砂地イメージ図

【感想】

- ・直接現場を見学することで見えてくる、現場のリアルを感じることができ、貴重な経験だった。
- ・令和元年度台風の被害の甚大さを改めて知り、その復旧・復興工事の現場を見ることで、日々の業務の重要性を再認識できた。



道路工事現場で説明を受ける様子

～ 今年度の若手事務系勉強会の目標 ～

「百聞は一見にしかず」

「周りに聞くよりも、現場に赴き自分たちで見識を深め、今後に繋げる」を合い言葉に設定しました。普段、デスクで行っている仕事が、どのように反映されているのか、実際に現場に足を運び、過程を体感することで、普段の業務に現場に近い視点を取り入れたいと考えています。

「One For All, All For One!」は、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所に所属している1~4年目の事務系若手職員が作成しています。

▶ ホームページ <https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/oyakudachi/student/index.html>